

様式 2

平成21年度 第4回安曇野市スポーツ振興計画策定委員会 会議概要

- | | | |
|---|-----------|--|
| 1 | 審議会名 | スポーツ振興計画策定委員会 |
| 2 | 日 時 | 平成22年2月24日 午後7時00分から午後8時45分まで |
| 3 | 会 場 | 豊科公民館 大会議室 |
| 4 | 出席者 | 古澤会長、加々美副会長、赤羽委員、大谷委員、降旗委員、丸山委員、高橋委員
宮沢委員、二木委員、阿部委員、征矢野委員、松澤委員、廣田委員、会田委員
内川委員、山田（賢）委員、山田（文）委員、矢野委員、臼井委員、畠山委員
青柳委員 |
| 5 | 市側出席者 | 赤羽課長・藤原係長・横山企画員・中島主査 |
| 6 | 公開・非公開の別 | 公開 |
| 7 | 傍聴人 | 0人 記者 0人 |
| 8 | 会議概要作成年月日 | 平成22年3月3日 |

協 議 事 項 等

- | | |
|---|---|
| 1 | 会議の概要 |
| | (1) 開会（赤羽課長） |
| | (2) 会長あいさつ |
| | (3) 協議事項 |
| | ①体育施設他市との比較について |
| | ②市内体育施設利用状況について |
| | ③安曇野市のスポーツ施策の課題 |
| | ④個別アンケートの実施について |
| | (4) 閉会（赤羽課長） |
| 2 | 会長あいさつ |
| | 暖かい陽気であった。スポーツのしやすい時期になってきた。新年初めての会になる。フレッシュな気持ちでいろいろなご意見をいただければと思う。 |
| 3 | 協議概要 |
| | (1) 体育施設他市との比較について |
| | (会 長) 事務局のほうから説明をお願いしたい。 |
| | (事務局) 【資料内容説明】 |
| | (会 長) 人口で6番目ということで数も相当かと思われる。表を見てお気づきの点等あったらお願いしたい。 |
| | (意見なし) |
| | 今後の検討材料の資料にして欲しい。 |
| | (2) 市内体育施設利用状況について |
| | (会 長) 事務局のほうから説明をお願いしたい。 |
| | (事務局) 【資料内容説明】 |
| | (会 長) 気になった点等あったらお願いしたい。 |
| | (委 員) 利用者の人数はどうなっているのか。 |
| | (事務局) 一人で使用も使用したことになっている。人数までとなるとまとめようがない。使っているか、使っていないかで人数は反映されていない。 |
| | (会 長) 自分たちがこの時間使いたいんだけど、使えないということもあると思う。多くは定期的に入っていることが多いのか。 |

協 議 事 項 等

- (事務局) 傾向としては、スポーツ少年団、体育協会は練習する曜日、時間帯が固定されている。定期的に使う団体が多いのは現状である。
- (委 員) 各施設の利用状況は分かった。施設予約のために電話したときに空いてない場合のほかの施設の状況のアナウンスはどうしているのか。
- (事務局) 施設の貸し出しは、豊科を除いては紙ベースで管理している。施設を借りる場合は、豊科は豊科、穂高は穂高に行かなければならない。例えば、穂高に行って市内でどこかあいているところあるかと聞いても分からない。それぞれの施設に問い合わせてもらわなければならない。平成23年4月を目指して、コンピューター化を進めている。
- (委 員) 23年度に恒久的な対策をとるのは分かったが、利用したい人に情報を提供するのが役目だと思う。受付をする人が、どこだったらできるとか案内できないのか。
- (事務局) ほんとうはすべてが分かればいいが、そういったことも含めて電話で問い合わせなければならないのが現状である。
- (事務局) 今現在もそれぞれの公民館が管理をしている。どこか一箇所で空き状況が分かるという現状でないのが現実である。
- (委 員) せっかくとったデータなのでシステム導入までにほかの施設を紹介するのに役立つと思う。
- (会 長) 70%以上の稼働率であれば二重丸にするとか、50から70までは丸にするとか、時間帯ごとに表記すると見やすいと思う。
- (委 員) できないと思う。
- (事務局) ふさがっているのはどうしても分からない。今現在は借りたい施設を管理しているところに問い合わせてもらうのが一番いいと思う。
- (事務局) 公民館の担当がこういった状況でこの辺であれば空いているかもしれないという傾向をつかむ資料にはなるかもしれない。確実に空いているところまではこれでは言えない。
- (委 員) 稼働率が低くても定期的に使用していれば空いてない。稼働率だけでは判断できない。
- (会 長) 利用者のほうからすると一つの目安を見ればありがたいかなと思う。
- (委 員) 問い合わせ先でも配るような情報サービスはできないのか。
- (事務局) 窓口対応になると思うので、そこらへんはそれぞれの地域にお願いしたいと思う。
- (委 員) そういう対応をしていただければありがたい。
- (会 長) その場で担当者が対応してもらおうと利用者は安心する。単純に事務的に対応してもらえればありがたいと思う。
- (事務局) 先ほど公民館という言い方をしたが、地域によっては委託しているところもある。お願いしている以上、職員と同じこととは思うが、こちらで話はするがきちんと徹底できるかは難しい面もある。オンライン化を早めることを考えていきたいと思う。
- (委 員) 旧町村単位で優先予約できたりしていることは変わらないのか。
- (事務局) 地元の人が押さえる確率が高い。慣れ親しんでいるし、移動時間もあると思う。定期的に使う団体は固定しているので、先に入ってしまうと、空いているところに一般の方が埋めるのが現状である。
- (会 長) 優先権があるということなのか。
- (事務局) 地元に限らず、体育協会、スポーツ少年は一般の方より優先権はある。それがすべて最優先というわけではなく、地区行事で使用する場合や大きな大会等で使用する場合は空けてもらっている。
- (会 長) 一年間の調整会議はやっているのか。
- (事務局) 調整会議も旧町村の中でやっているところとやっていないところがある。2ヶ月ごとのところや年度始めにやっている。これも全市統一でやっていかなければならないことである。

協 議 事 項 等

- (委 員) 月の始めにまとめたものを全地区で持てば分かるのではないか。
(事務局) どんどん新しいものが入ってくる。
(委 員) 住民にやさしいということはそういうことではないか。
(委 員) 電話したほうが早い。
(会 長) 連絡先は明確になっているのか。
(事務局) 市になってから配った暮らしのガイドブックには載っている。毎日、空き状況が変わっていく。それなのであまり無責任な窓口対応してもかえって市民の方に迷惑がかかる気がしている。紙台帳で管理しているので、問い合わせてもらったほうが借りられる借りられない話ができるので、今現在は一番ベターだと思う。
- (委 員) 利用頻度の高い施設は限られているのではないか。
(事務局) 時間帯だと思う。夜は学校施設含めて高いが、昼間ならできるかもしれない。それでも穂高会館のように高い施設もある。
- (副会長) 今まで地元だけという発想しかなかったが、これからは市内全域に活動場所が広がるかもしれない。優先予約できない一般の方が一番空き情報が必要だと思う。同じ市民として平等に恩恵を受けなければならないという基本的な考え方があって、それに早く到達するにはどうしたらいいかということだと思う。全部、一元で管理できればそれに越したことはないと思う。
- (委 員) オンライン化は予算化されているのか。
(事務局) 市のシステムの中で考えていることで予算化されている。
(会 長) 最寄の支所についてタッチパネルで見れると便利だと思う。
(事務局) そこまでは考えていないが、豊科ですで行われているように利用者の家にパソコンがあれば、そこから申し込みできるようには考えている。豊科の場合だと何日かまでに申し込んでもらったものを抽選し、それ以降空いている分についてはフリーで予約できるようになっている。
- (会 長) 今やっている紙の予約台帳がパソコンで見れるということか。
(委 員) 施設がいつどの時間に空いているかは分かる。
(会 長) 早くできればいい。今の状況も分かったし、みなさん求めている状況は同じだと思う。稼働率の表は、一般の方たちの目にふれることはあるのか。
(事務局) 一般の方の目にふれることはない。スポーツ振興計画を策定していく上での基礎資料と思ってほしい。20年度も21年度もおそらく利用の状況は変わらないと思う。穂高北小の体育館だけは改修工事を行って新しくなるので利用が増えると思う。
- (委 員) 施設について車イスが使えるようなことを明記して欲しい。豊科南社会体育館にスロープと身障者用トイレを設置していただくよう検討してほしい。
(事務局) 検討する。
- (3) 安曇野市のスポーツ施策の課題について
(会 長) 事務局のほうから説明をお願いしたい。
(事務局) 【資料内容説明】
(会 長) いろいろな課題があげられている。できればすべて実現の方向になればと思う。意見があったらお願いしたい。
(委 員) コーディネーショントレーニングの普及とあるが、これは一つの協会がやっていることではないのか。
(事務局) コーディネーショントレーニング自体、1970年頃からあったもので、より体系化し普及に努めているのがNPO法人日本コーディネーショントレーニング協会という団体である。長野県の19市の体育課長会議というものがあって、その中でこのトレーニングがあらゆる年代に有効なので取り組んで欲しいという話があった。実際やってみていいトレーニング方法であったので、協会のほうと協力して普及に取り組んでいるところである。
- (委 員) 市体育協会と地域体育協会の関係はどのように考えているのか。
(事務局) 体育協会のほうでは、地域体育協会を残すということで聞いている。
(委 員) 体育協会と市の事業がだぶってしまうのではないか。その辺の棲み分けはどのような考えなのか。

協 議 事 項 等

- (事務局) 棲み分けは必要と思う。同じようなことをやっても意味がないと思うので、連絡を取り合いながら整理して進めていく必要があると思う。
- (会 長) あっちもこっちも命令系統があるとよくないので、うまいやり方はないかと思う。
- (事務局) 市の行うスポーツ教室ということで以前はマレットゴルフや太極拳なんかを行っていたが、体育協会の競技団体が行ったほうがより効果的ではないかということで、市のほうの方針として専門スポーツは体育協会にお願いするということに転換している。ニュースポーツと言われるような体育協会にまだ普及してないものをスポーツ教室として行うよう切り替えている。
- (会 長) お互いが遠慮しないでいろいろ取り組んだほうがいい。
- (委 員) ニュースポーツの中には高齢者や障害者でもできるものがあるが、器具が高いので行政で揃えて普及に努めて欲しい。
- (事務局) 生涯スポーツという観点からも揃えるようにしていきたい。
- (委 員) 市民スポーツ祭をやることは検討しているのか。
- (事務局) 来年度行う予定でいる。今、決まっていることは6月末に総合開会式を行って軽スポーツの交流会、体力測定を行ったり、種目別競技会も考えている。体育協会と一緒に検討している。
- (会 長) さまざまな課題があるということでまた検討して追加していくなど必要になると思う。

(4) 個別アンケートの実施について

- (会 長) 事務局のほうから説明をお願いしたい。
- (事務局) 【資料内容説明】
- (会 長) 何かあればお願いしたい。
(意見なし)

—閉会—